



佐藤さんの平飼い有精卵



広々としたスペースで元気に走り回るニワトリさん達



頂いた煮卵は、ほっぺが落ちるほど絶品でした



養鶏歴40年以上の大ベテランの佐藤さん

★青草を毎日食べて元気に育つ平飼い鶏

一般的な養鶏場は、ゲージという金属製のかごに1~2羽の雌鶏が入れられ、1カ所で10万羽を飼うところが主流で、まさに大規模工場のようになっています。エサは遺伝子組み換え飼料を与えられ、ストレスで隣の鶏をつついても傷つかないようにくちばしを切られ、機械のように扱われている鶏の卵が流通しています。

一方、佐藤さんは40年以上も平飼いを行っている大ベテラン。一般的な平飼いでくちばしを切られた若鶏を買ってくるところが多い中、生まれた日から自分の養鶏場に迎え入れ、雛の内から自家製の飼料を与えて、のびのび元気に育てています。飼料は大豆、トウモロコシ、発酵させた大麦や糠などを配合したもので、さらに鶏糞を肥料として育てた青草を毎日与えています。ちなみに青草の畑はなんと7反（約2,100坪）と、とんでもなく広いのです。「青草を与えれば鶏が元気になるし、卵の色もきれいな黄色になるし、味も良くなるんだよね。昔から誰もが知っていたことだけど、手間やコストがかかるからみんなやらないんだよ」

そんな佐藤さんが育てた鶏は元気そのもので薬なども一切使いません。「殺菌剤などを撒くんじゃなくて、色々な菌がいる自然なところで元気に育つ鶏の方が元気な卵を産むと思うんだ」昔はどこの家庭でも大根の葉などを与えて庭で飼っていた鶏。そんな昔ながらの自然な環境でのびのびと育つ鶏が産む有精卵は美味しさはもちろん、正に命そのものです。

※佐藤さんの「平飼い有精卵」は6玉入りと10玉入りがあります。

【産地情報】

◎白菜は寒さにもよりますが、今月下旬までの出荷となります。